

昼寝(午睡)中の安全確保について 保護者の皆さまにお願い

自分たちはリスクを理解しているという表明。

保護者の皆さまもニュースでご存知の通り、保育園など乳児を預かる施設で子どもが睡眠中に亡くなるできごとが後を絶ちません。私どもの施設では、大切なお子さんの命を守り、異常にいち早く気づくため、0歳児クラスと1歳児クラスにつきましては、「うつぶせ寝をさせない」「定期的にチェックする」を睡眠中のルールとして徹底しています。

ここは非常に重要なので、ゴシック体で目立つように。

保護者は知らないで、事実として知らせる。「私どもの園では～」と、実際にしてきたことを書いてもよい。

2歳児もしているのであれば、その旨を。

従来、多くの保育施設でお昼寝(午睡)中は、保育士が連絡帳を書く時間、保育の準備や行事のための製作をする時間、会議をする時間に充てられてきました。保育時間が長くなり、行事も増えている昨今、保育士にとっては大切な時間です。

重要。ゴシック体で。

けれども、子どもの命より目先の仕事を優先させるようなことは、絶対にすべきでないと私たちは考えます。子どもの睡眠中のチェックに専念する職員を毎日、必ず配置するため、以下の点について保護者の皆さまのご理解をお願いいたします。

●保育士が作る壁面の装飾などを減らします。子どもたちが作った作品をより多く飾るようになります。

なくします、でもよい。

●行事等のために保育者が作る小物や飾り、衣装を減らし、簡素なものにします。

●ハロウィンなど、近年始まった新しい行事はやめます。

または、「保育士の負担の大きい行事等はやめます」でもよい。

●他にあれば、書く。

厚労省のリーフレットを印刷して、一緒に配布してもよい。

最後になりますが、特に乳児をお持ちの保護者の方は、厚生労働省が推奨している通り、ご自宅でも「寝かしつけからあおむけ寝」を心がけてくださいますようお願いいたします。「あおむけ寝」を習慣づけ、お子さまの命を保護者の皆さまと共に守っていきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ご自宅でも～ください、はゴシック体。